



普通にテント泊 鹿島槍ヶ岳(赤岩尾根
経由) (無雪期ピークハント/縦走/白
馬・鹿島槍・五竜)

by
gekiyabu 

日程：

2012年08月10日 ~ 2012年08月11日

メンバー：

gekiyabu

天候：

8/10 晴れ 8/11 曇り

地図：



WEB SERVICES BY YAHOO! JAPAN

標高グラフ：

コースタイム：

8/10 5:14 大谷原 -- 6:13 西俣出合 6:21 -- 7:13 遭難レリーフ -- 7:57 高千穂平
-- 8:54 冷乗越 9:02 -- 9:11 冷池山荘 9:24 -- 9:31 テント場 10:11 -- 10:53
布引山 -- 11:28 鹿島槍南峰 12:18 -- 12:39 鹿島槍北峰 13:30 -- 13:55 鹿島槍
南峰 15:09 -- 15:29 布引山-(雷鳥、イワヒバリが逃げるまでの時間を含む)-
16:02 テント場

8/11 4:06 テント場 -- 4:57 布引山 5:34 -- 6:04 テント場 6:35 -- 6:40 冷池山
荘 6:44 -- 6:55 冷乗越 7:00 -- 7:31 高千穂平 -- 7:49 第1ベンチ -- 8:17 西俣

出合 8:26 -- 9:09 大谷原

コース状況/その他周辺情報:

- ・大谷原から赤岩尾根経由で冷池山荘で幕営、初日のうちに鹿島槍南峰、北峰を往復
- ・現在の鹿島槍登山ルートは扇沢起点の柏原新道がメインで赤岩尾根利用者は少なく静かに歩ける
- ・赤岩尾根は高千穂平より下で傾斜が急だが危険箇所は無い。高千穂平より上部で展望が開ける
- ・冷池山荘テント場料金は¥500/人。水は¥150/リットル
- ・冷池山荘テント場は山荘から離れていてトイレが遠いのが不便。でも立山劔の展望が最高!
- ・テント場から標高2520m付近までは稜線東側の巻道が続き高山植物が多い
- ・標高2520m付近より高い場所は森林限界を超えてハイマツが広がりアルプスらしい風景
- ・布引山は僅かに高まった場所だが展望良好
- ・鹿島槍南峰直下は急だが大きめの砂利のジグザグの登山道
- ・鹿島槍南峰は広い。三角点は標識のある場所より東側の高い位置にある
- ・鹿島槍南峰から北峰への下りが一番難しい場所かも。急な岩稜帯。ややルート分かりにくい
- ・鞍部南側は大きな雪渓が残り、ビールを冷やすのに最適!
- ・五龍方面縦走路は北峰を巻くが山頂への道もある
- ・鹿島槍北峰は狭い場所。足元にキレット小屋が見下ろせる
- ・北峰から南に明瞭な道があるが、これは鹿島槍東尾根ルートで雪がある時期のクライミング専用
- ・翌朝、展望を期待して再び鹿島槍を目指したがガスがかかり断念して下山

📷 写真:



大谷原登山口の駐車場。2か所に分散しているが橋を渡った先のもの。まさかの空っぽで登山道が閉鎖されているのか?と疑ったほど



ゲート



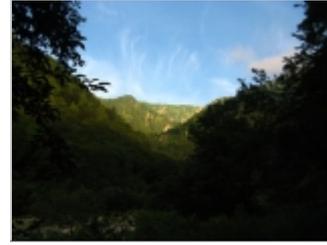
最初の林道分岐。鹿島槍東尾根入口の標識が奥の斜面にあるが踏跡なし



ここがメジャーな鹿島槍東尾根入口。踏跡明瞭、目印多数



鹿島槍東尾根入口にある標識。マジックで追記されている



林道から見た稜線。すっきり晴れている



西俣出合の堰堤



西俣出合から見た鹿島槍



堰堤中にトンネルあり



赤岩尾根に向かう



尾根に乗る



登山道はよく整備されている



標高1750m付近の冬ルート
の岩場。目印あり



標高1750m付近の岩壁に
遭難レリーフあり



高千穂平



高千穂平から見た鹿島槍



高千穂平から見た赤岩尾根
上部



高千穂平から見た布引谷にかかる滝。名前不明



高千穂平を見下ろす。標識が立つ場所はピークではなくその手前の平坦地



なおも登る



登山道はこのザレた谷をトラバースするが、実際は登山道がある場所は堅い岩で安全



トラバース箇所。積雪が無ければ問題なし



間もなく稜線



冷乗越。ようやく剣岳と対面



冷乗越から爺ヶ岳方向を見る



冷乗越から見た鹿島槍。ガスが上がり始めている



冷乗越から見た立山剣岳拡大



冷乗越から見た立山剣岳



冷乗越から見た冷池山荘



冷池山荘のメインのテント場



「離れ」のテント場その1



登山道を挟んで反対側に「離れ」その2. ここに幕営



テント場から見た爺ヶ岳



テント場からの展望



テントを張り終わり、時間がたっぷりあるので山頂を往復することに



稜線東側から直上に出ると低いハイマツ帯



布引山へ登る



布引山付近から見た牛首山



牛首山山頂。背景は鹿島槍南峰



牛首山から見た北ア



牛首山から見た立山、剣岳



鹿島槍山頂(南峰)へ向かう。まだガスがかかりかけて晴れている



鹿島槍ヶ岳山頂(南峰)

牛首山に近い



鹿島槍ヶ岳南峰から見た南～西～北の展望

最後の登り



鹿島槍南峰から見た北峰と五竜岳



鹿島槍ヶ岳南峰から見た後立山北部



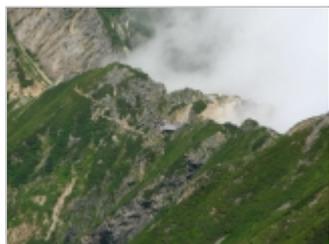
鹿島槍ヶ岳南峰から見た北ア核心部



鹿島槍ヶ岳南峰から見た剣岳北方稜線



鹿島槍ヶ岳南峰から見た布引山



鹿島槍ヶ岳南峰から見たキレット小屋



鹿島槍ヶ岳北峰向けて下る



途中の2810m峰



2810m峰から見た鹿島槍北峰



鞍部から登り返す



鹿島槍北峰山頂



鹿島槍北峰から見た南～西～北の展望



鹿島槍北峰から見た五竜岳



鹿島槍北峰から見た鹿島槍
東尾根



鹿島槍北峰から見たキレット
小屋。足元直下に見える



鹿島槍北峰から見たカクネ
里の雪渓



鹿島槍東尾根入口。明瞭な
踏跡あり



鹿島槍東尾根入口付近のケ
ルン



南峰に戻る



南峰に登り返す



ガスに覆われた南峰山頂



テント場に戻る



布引山の下りで雷鳥に遭遇



子供は2羽いた



登山道上にはイワヒバリも



テント場到着。夕方での
数なのでえらい少ない



翌朝、3時の時点で星空が
見えていたので朝飯を食っ
て、展望を期待して鹿島槍
目指す



ガスに覆われた布引山。30
分粘ったがガスが取れず山
頂行きを断念し引き返す



標高2550m付近でガスの層を抜けると下界は雲海



爺ヶ岳もガスの中



テント場から立山方面も見えない



これから下る赤岩尾根



小屋を通過して鞍部より登り返す



冷乗越



冷乗越から見た鹿島槍。やはりガスの中のまま



赤岩尾根に突入



少しガスが高くなってきて布引山登場



高千穂平



標高1750m地点付近の第1ベンチ



第1ベンチのベンチは丸太



西俣出合到着。ここで水浴びしてから林道歩き開始



駐車場到着。やっぱり車がない

お盆休みは数少ない長期休暇なので土日2日では無理な山にしたいところだが、天気予報がイマイチ。日曜から数日間は大気の状態が不安定で夕立以上の雷雨になる気配が濃厚。仕方がないのでまずは2日間で行ける山へ。このところ南アルプス通いが続いたので北アルプスへ。お盆のめっちゃ混みの時期に北アのどこにするか悩んだが、比較的用户者が少ない赤岩尾根から鹿島槍を目指すことに。私の足なら日帰りも可能だが、展望を楽しむためには早朝に山頂に立つ必要があり、アルプス級の山ではその時間帯に山頂に立つには日帰りは無理だ(睡眠時間を削って夜中に登れば別だが)。よってテントを背負って1泊で出かけることにする。これは高地での避暑の意味合いも強かった。

豊科ICで降りて毎度のルートで大谷原へ。お盆で道が混雑するかと思いきや、高瀬川右岸土手上の県道は稀にみるガラガラであった。道路の気温表示は19℃！今の東京では考えられない涼しさで車のクーラーの出番はない。大谷原駐車場に到着すると橋の手前の駐車場に1台あるだけで、より登山口に近い橋を渡った駐車場には車が無い！まさか赤岩尾根登山道は崩壊でもあって通行止めになっているのでは？と疑うような光景だ。大谷原は金曜夜に何度も車中泊で来たことがあるが、こんな車の少なさは経験がない。でももし登山道に異常があれば駐車場には何らかの看板があるはずで、長期休暇でみんなもっと期間がかかる山に入るため人が少ないのだろうと考えることに。酒を飲んで寝た。気温はかなり低めで車の窓を開けると寒いくらいだった。

翌朝、5時過ぎに出発。何度も歩いたコースなので地図を見る必要も無し。最初に右に分岐する林道が登場するが、斜面を少し入った藪の中に鹿島槍東尾根入口の標識がある。でもずっと先で林道がヘアピンカーブした先で1180m等高線を越える付近の斜面に明瞭な踏跡と多数の目印があり、そこが東尾根のメインルートなのだ。道端に立っている標識にはマジックで「東尾根入口→」と書き加えられていた。

林道終点が西俣出合で赤岩尾根取付点。ここで沢に下りて顔を洗い水を補給していると単独女性が追い越した。堰堤内に設けられたトンネルで対岸に渡り、いよいよ赤岩尾根へ。トラバースして尾根に乗った後は急な登りが続き、効率よく高度を上げる。柏原新道と比較すれば利用者は圧倒的に少ないだろうが道はよく手入れされ1級品だ。高度1750m付近で巨岩を避けて右に巻く個所が登場、冬ルートはその岩を登るようで見上げると赤布がいくつもかかっていた。そして巨岩北面にレリーフが埋め込まれているが、ここは登山道よりかなり上にあるため通常は気付かない。そこから5分程度登ったところが第1ベンチだが往路では気付かず通過。微妙にピークを外した高千穂平を通過、まだ体力に余裕があるので休憩なし。ここから見える鹿島槍は少しガスが上がり始めており、こちらが山頂に到着する頃にはガスに覆われてしまうだろうか。

高千穂平より上の赤岩尾根は傾斜が緩み樹林も薄くなって展望が開ける。ここで後方から日帰り軽装の単独男性が追いついたので道を譲るが、こちらは写真撮影で時々立ち止まるためほとんど同じペースであった。積雪期はいやらしいであろう岩場のトラバース

スも無雪期なら全く問題なし。鎖が設置されているが出番はない。

岩場が終わるとハイマツ帯の緩い斜面となって爺ヶ岳の稜線に合流、ここが冷乗越だ。ここへきて今回初めての立山剣方面の大展望が得られる。いつ来てもいい光景だ。少しだけ休憩して小屋に向かい幕営手続き。札番号は1、本日最初の幕営者だ。まだ9時ちょっと過ぎだからなあ。

ここのテントサイトは小屋から離れた所にある。笠ヶ岳のテント場よりは近いが手軽に行くには高度差がある場所だ。テント場は森林限界を超えてハイマツが広がった中にあり、メインの広いテント場の他に小屋に近い側に2か所ほど小さな「離れ」のテントサイトがある。2人用までしか張れない広さだが独立した場所で混雑した時でも静かに過ごせるのが大きなメリット。登山道の西側の「離れ」を確保してテント設営。時間はたっぷりあるので山頂を往復することに。明日の天気予報は曇りで稜線がガスに覆われて展望がない可能性もあることも考えてだ。飯、水、雨具を持って出発。

既に小屋発の登山者は出払った時間帯で登山道に見える登山者は少ない。しばし稜線東側をトラバースするように登山道が付けられているが、高山植物が多い。標高2520mを越えると稜線上に道が移り、ここでハイマツに変わってアルプスらしい光景に。ジグザグに高度を上げてのピークが布引山。森林限界を優に超えた高度なので文句なしの展望。真正面には鹿島槍南峰。東側にはガスが上がりつつあるがまだ山頂部は晴れている。

布引山から鹿島槍南峰まで展望の稜線歩き。最後に大きめの砂利が敷き詰められたジグザグの登山道を登り切って山頂到着。少しガスが上がった影響なのか、それとも空気の透明度が悪いのか分からないが八ヶ岳や富士山、南アは全く見えない。北アは槍穂がcaろうじて見えているが湧き上がる雲に隠されるのは時間の問題か。針ノ木岳の向こうには北アルプス最奥地の水晶岳に赤牛岳。薬師岳から立山、劔岳、劔岳北方稜線。それらと黒部川を挟んで対岸は後立山。白馬岳は白馬鑓ヶ岳の右側にかろうじて姿を見えていた。東の眼下には鹿島槍北峰と東尾根。

時間はたっぷりあるので長時間休憩して北峰に向かう。南峰からの下りが少しいやらしく、それまでの穏やかな稜線と違って急な岩稜帯。雪が付いたら気合が必要な場所だろう。下部に人がいるときは石を落とさぬよう注意。中間地点の2810m峰を越えて鞍部へ。南側は大きな雪渓が残り、簡単にアプローチできるのでここで缶ビールを冷やして昼食なんてこともいいかも。

キレット方面への縦走路は北峰山頂を巻いてしまうが、北峰に登る道が別にあって山頂に立つことができる。縦走路分岐から山頂まで10分もかからないので、分岐に荷物を置いて空身で往復するのが普通だ。登山道は良好で問題なく、山頂直下の急斜面をジグ

ザグに登り切ると北峰山頂。標柱は縦に裂けていて横木の標識が無くなっていて、代わりに合成樹脂製の英語表記の標識が地面に落ちていた。

森林限界を超えているので展望は良好だが、立山剣方面は南峰がデカ過ぎて邪魔している。また、雲が増えてきて東側だけでなく西側の山々にも雲がかかり始めていた。もう槍穂は見えない。北方の足元にはキレット小屋。東はカクネ里の雪渓。南には明瞭な踏跡が伸び、入口には「踏跡注意」の低い標識。この踏跡は鹿島槍東尾根で、雪がある時期のクライミングルートだ。山頂こそ道は明瞭だが冬、春山シーズンに雪が付いている場所は道はない。東尾根の途中にあるアラ沢ノ頭(2680m峰)まではクライミング不要であるが、それより下部は岩屋さんの世界だ。

北峰でも時間つぶしで休憩してから南峰に戻る。かなりガスが上がってきているがまだ雨が降る気配はなし。このままなら今日は雨は大丈夫そうだ。午後3時を過ぎてテント場目指して下山開始。稜線東側からガスが湧き上がり、西側も雲が増えて日差しが無くなった。布引山からジグザグに下っていると道端で雷鳥発見。すくっと立った親鳥の近くにヒナが2羽。今年初めての雷鳥との遭遇に大満足。さらに下って稜線東の巻道を歩いていると道の真ん中でチョロチョロするイワヒバリが登場。この鳥も比較的人間を怖がらない種類である。あちらが登山道から遠ざかるまで数分間はこちらは待機状態だった。

テント場に戻るとお盆にしてはテントの数が少なかった。登山道を挟んだ「離れ」にもテントが設営されていた。下がった札番号は3、やっぱり早めに来た人であった。しばらくして小屋のバイトがやってきて札を回収。これが下がっているテントは料金支払い済みであることを示している。夕方、夜間も雨が来ることはなく、多少風が吹いたが天候には恵まれた。

翌朝、3時に起床。天気を持ちそうなら再び山頂に登って早朝の展望を楽しもうと考えていたが、見上げた空は薄い雲が出ているが星や月も見ていて基本的に晴れ模様。飯を食ってまだ真っ暗な中を山頂目指して出発。途中ヘッドライトが電池切れで電池交換したが、それ以外は問題なく進む。しかし天気の方が問題で、森林限界を超えて少し登ったところでガスの中。先行者のライトの光もガスに霞んでいる。このままガスの中なのか、それとも晴れるのか分からないので、とりあえず布引山までは登ることに。布引山では先行の登山者2名が休憩中。深いガスに覆われて鹿島槍山頂は見えない。冷たい西風が吹き付けるので東側の風が当たらないところに逃げ、長袖シャツにゴア、毛糸の帽子にマフラーで防寒。30分ほど待ったが、たまにガスが薄まって上空が見える瞬間はあったが周囲の展望が開けることはなく、おそらく鹿島槍山頂に登っても今日は何も見えずじまいだろうと判断して下山。すれ違う人は軽装の人が多く、小屋から山頂を往復の人が多いようだ。キレット小屋方面に縦走する人は少なかった。

ほとんどテントが消えたテント場に到着、私もテントを畳んで出発。冷池小屋も皆出発した後で静かな時間帯だった。鞍部から登り返して冷乗越到着。まだ鹿島槍、布引山はガスの層の中に没していた。今日は諦めて正解だったか。しかし下山中に見るとガスの高さが徐々に上っていき、高千穂平では布引山は姿を現したので、もしかしたらその後は山頂でもガスが切れた可能性はある。でもすっきりと晴れた好展望は望めなかっただろう。

赤岩尾根に入ってすぐの場所で登りの単独男性と遭遇、まだ朝7時なのでとんでもなく早い。もちろん日帰りの軽装姿。30分遅れくらいで次の日帰り単独男性が登ってきた。その後はポツリポツリと登ってくるパーティーあり。今日もお客は少ないなあ。西俣出合でザックを下して汗臭い濡れタオルを洗ってから汗を拭う。これでさっぱり。西俣出合にはマウンテンバイクが1台。ここまでチャリを漕いできた(押してきた?)人がいたのだ。ご苦労様。帰りはとても楽ができるが、大谷原との標高差は300m弱あるので自転車では登りが大変だろう。駐車場に戻ると車は相変わらず少なく、とてもお盆とは思えない状態。おそらく柏原新道登山口近くの駐車場は満杯だろうが、この落差は……。鹿島槍が目的地の場合、今後も赤岩尾根経由で登った方がいいな。

Copyright(c) Yamareco. All Rights Reserved.

<http://www.yamareco.com/>